

小樽市
教育推進計画
主体的に学び
小樽の未来を創る
心豊かな人づくり

銭函地区の子どもたちの9年間を共にはぐくむ

銭函地区では、3つの小学校と1つの中学校との計4校で
小中一貫教育を推進しています。また、4校で1つの学校
運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとなって、
地域とともにある学校づくりを目指しています。

小樽市小中一貫教育基本方針

1目標をつなぐ 2子どもの学びをつなぐ 3子どもの心をつなぐ 4教職員の意識をつなぐ 5家庭・地域との絆をつなぐ



子ども見守り隊
公式キャラクター
ふくまる

●目指す！5歳の姿（銭函中学校の教育目標）

夢や目標に向かって努力し、やり遂げる生徒

小中9年間の「学びのつながり」

- ①「小樽授業づくり5つのSTEP !!」に基づいた、子どもたちが主体的に学ぶための授業改善の推進
・「7年間の総合的な学習の時間」や「9年間のクロームブックの活用プラン」など学校段階をつなぐ取組
- ②小学校高学年での教科担任制の推進
・各小学校の専科教員による横の連携
・中学校の加配教員による縦の連携（銭函小6年生の体育、桂岡小5・6年生の英語、張碓小6年生の英語）
- ③「児童会生徒会オンラインミーティング」や「新入生体験入学での中学生の学校説明」など児童生徒の心をつなぐ交流



錢函小学校

桂岡小学校

張碓小学校

保護者地域

かしこい子ども
美しい心をもつ子ども
強くたくましい子ども

※R8見直し予定

やさしく
かしこく
たくましく

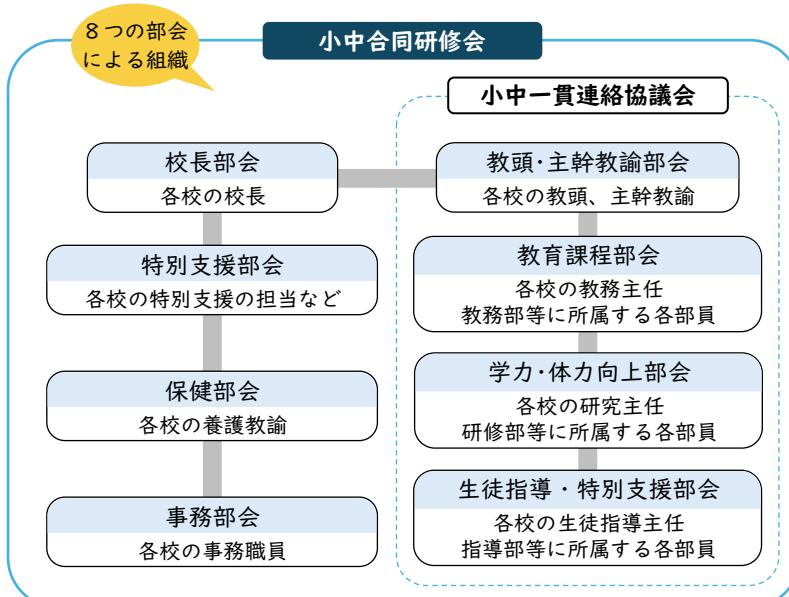
※R8見直し予定

学習にはげむ子ども
礼儀正しい子ども
健康な子ども

※R8見直し予定

地域の支援を小中で
絶え間なくつなぐ
学校への関心が高く協力的
当事者の意識を持った参画

●4校全体がチームで協力するためのしくみ（これまでの取組の継承と進化に向けて）



○中1ギャップの軽減・未然防止

心身両面における9年間の発達段階について
小中の教職員の情報交換の密度を高くして、
多面的な児童生徒理解につなげていきます。

○自らの人生を舵取りできる力の育成

4校すべての教職員が「小中合同研修会」
に参加して共通理解を深め、多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにします。

○保護者や地域との連携の強化

学校運営協議会にて、小中の取組の評価や
見直しを行い、保護者や地域の参画意識を
高め、教育課題や子育ての目標を共有します。